



中村ロータリークラブ

例会記録 (2013～2014)

会 長/大 塚 和 助

幹 事/稲 田 玲 子

会報委員長/門 田 勝 利

創 立/昭和38年10月2日

例会日/水曜日 12:30～13:30

例会場/新ロイヤルホテル 四万十

事務所/四万十市中村小姓町46番地 中村商工会館2F

TEL 0880-35-4551 FAX 0880-35-4553

●ホームページ <http://www.nakamura-rc.com/>

週報 No.2341

第2472回 平成26年2月5日(晴れ)

本日のプログラム：会員スピーチ 鍋島 和彦会員

2月12日(水)のプログラム：ゲストスピーチ 劉 博様(四万十市国際交流員)

2月19日(水)のプログラム：会員スピーチ IMの報告

【会長挨拶】大塚会長

- ・先週は暖かい日が続きましたが、昨日から急に寒くなりました。風邪が流行っていますのでお気をつけください。
- ・昨日の新聞に、1月の新車販売台数が27.3%アップ、軽自動車は33%もアップしたそうです。これは17年ぶりで、その年は消費税率3%が5%になった時です。駆け込み需要とはいえ、そんな話を聞くと、だんだんと景気もよくなるような気がしてきます。現在、土建業は仕事いっぱい受注できないくらいだそうです。末端までお金がまわってくれば、少しは景気も良くなるかもしれません。

【幹事報告】 稲田幹事

- ・ガバナー事務所より
サンディゴ国際協議会において新会員推薦者にピンを贈呈するプログラムが承認
- ・ガバナーエレクト事務所より地区研修協議会のご案内 3/30(日) 10:30～
松山市総合コミュニティセンター
- ・ロータリーの友12月号 全員拝受

- ・ロータリー日本財団より

平成25年7月～12月末日までの確定申告用領収書を寄附者へ拝受

- ・松山南RCより

第5回ガバナー杯野球大会日程のお知らせ

10/17～19日 坊ちゃんスタジアム・マドンナスタジアム

- ・四万十川自然再生協議会より総会のご案内

2/22 14時～ 四万十市防災センター

- ・四国電力(株)よりライフ&ライト2月号

【委員会・会員発言】

明神会員

ゴルフ愛好会からです。2/16(日)土佐ユートピアCCにて8時10分集合、8時46分スタートです。多数のご参加をお願いします。



【本日のプログラム】 会員スピーチ 「はた博と映画祭」 鍋島 和彦会員



幡多6市町村の地域観光キャンペーン「楽しまんと！はた博」が昨年7月から12月にかけて開催されました。入り込み数は11月末で前年比16%増の125万人。高速道延伸と一昨年の四万十市をロケにしたドラマ「遅咲きのヒマワリ」の効果も大きかったのではないのでしょうか。

「はた博」は体験プログラムなど新しい取り組みもありましたが、既存のイベントを磨き直しが主。数少ない新規イベントの一つに「四万十おきゃく映画祭」がありました。

この映画祭は映画監督の大友啓史さんが立案。土佐のおきゃく文化を根底にし、映画を肴に人が交流して、四万十ファンを増やそうという企画です。映画撮影準備に追われる忙しい最中に監督からアイデアをいただきました。四万十振興の一つの切り口ですが、エピソードを2、3挙げてみたいと思います。

ゲストの1人は岩手県宮古市の映画館「みやこシネマリーン」支配人、櫛桁一則さん。遠路はるばる駆けつけてくださって、西土佐小と具同小で講演。東日本大震災のあと、被災地を映画を持って無料巡回している体験を語り、親子が真剣に聞き入っていました。映画祭の作品はなかなか見ることができなかったのですが、「ローマの休日」を最後の1時間だけ観賞。何十回も見ているのに、スクリーンのオーディリー・ヘップバーンの表情が余りにも豊かで哀しく、涙があふれてきました。ふと隣の櫛桁さんを見ると、彼もぼろ泣き。「映画は人をつなぐ」を実感しました。

「日本沈没」「のぼうの城」の樋口真嗣監督も面白い人でした。奥様の法子さんも美しくすてきな方。夫妻は四万十青のりを初め地域の食材を堪能、とても喜んでくださいました。

いらっしゃった映画人には四万十の自然や景観、食を味わってもらい好評でしたが、課題も。感じたのは「四万十に好意を持っている外の人の力」をもっとうまく使えないかということ。この点、「おまち中村」に比べ、西土佐は上手です。

昨年8月に最高気温41度を達成したときの対応は素早かった。事前に準備していた看板を出し、41円のかき氷を作るなどしてメディアの注目を集めました。それもその日の午前中に会合を開き、午後には看板を立てるなどスピード感がありました。メディアがネタの夏枯れ時期だったことも幸いして、NHKの午後7時のニュースでトップを飾り、西土佐が10分間、全国中継されました。これは広告費に直すと数億円の効果があるのではないかと思います。

中心になって動いたのが、県外からの移住者。地元溶け込み、新しい企画をどんどん出しては実行に移し、成功を治めています。

これに対して中村は少しのんびりしているように見えます。今後ますます状況は厳しくなってきます。危機が訪れる前に少しでも早く準備をしておくのが得策だと思います。

そのためには外の視点を活用し、地元で住んでいたのでは気付かないこの良い点を掘り出し、情報発信していくことが必要ではないでしょうか。外から来た人間は暮らしていると中村が大好きになる人が多い。「私たちをうまく使ってほしい」という気持ちがあります。報道という私の仕事も同様です。地域を元気にするアイデア、話題がありましたら、遠慮なく相談していただきたいです。

【ニコニコ箱】

大塚会長：先週の長寿祝い無事終わることができました。青木親睦委員長はじめ皆さんご苦労さまでした。

梅原会員：還暦祝い、ありがとうございました。

川村会員：還暦祝い、ありがとうございました。また、妻の誕生祝いありがとうございました。

岡本会員：喜寿のお祝い会を開いていただき、ありがとうございました。

越智会員：2月2日（日）、香川丸亀国際ハーフマラソン無事完走いたしました。大変疲れました。

【出席報告】 ・会員総数51名（免除会員1名）

・本日の出席/30人 60% 先週の訂正 14M 62%→90%